

平成 年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

| | |
|------|------|
| 受験番号 | |
| 問題番号 | Ⅱ-1- |

| | |
|---------|----|
| 技術部門 | 部門 |
| 選択科目 | |
| 専門とする事項 | |

| |
|---|
| ※ |
| |

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。
 ○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。（英数字及び図表を除く。）

(1) 多次元分析とは

多次元分析とは、利用者がオンラインでデータベースに直接アクセスし、情報を集計・分析する手法のことである。多次元分析では、簡単な操作で様々な切り口（分析の軸）に切り替えながら分析することを可能にするため、多次元データベースを利用する。

(2) 3つの基本操作

① スライシング：スライシングとは、多次元データベースをある断面で切り取って2次元の表にする操作である。

② ダイシング：ダイシングとはサイコロを振ることであり、多次元データベースでは、縦軸と横軸を指定して2次元の表にする操作を指す。

③ ドリリング：ドリリングとは、ドリルで深く掘り進むことであり、多次元データベースでは、詳細に展開する操作をドリルダウンといい、逆に集計する操作をドリルアップという。

(3) 2種類のデータベース

① MOLAP：DWHなどの元データを多次元分析用の多次元データベースに格納し、利用者からの処理要求に応じて、データを切り出して表示する。

② ROLAP：元データの格納されたRDBに直接検索、集計を行い、結果を利用者側で多次元データベースとして見せるようにしたものである。